

関連項目：教育活動プラン①

学校のじまんづくりを通して、自尊感情を高める

目的

本校の児童は、6年間単学級で過ごすため、人間関係が固定化し、リーダーが育ちにくい状況があります。そこで、学校の「じまんづくり」を計画的に組織することで、一人ひとりに活躍の場を与え、自分自身の力で課題を解決できたという自己充実感や達成感を育てたいと考えました。そうすることで、自分のよさに気づき、主体的に活動できる児童を育成することができると考えました。

内容

● 三大プロジェクト活動における児童の主体的な取り組み

6年生全員が「あいさつ」「おそうじ」「なかよし」の3つのプロジェクトのいずれかに所属し、学校生活をよりよくするために、自分たちで活動を考え、企画運営をする。このような活動を1年間することで、一人ひとりの考えや行動する力を伸ばすことができ、主体的な児童の育成に繋がると考えた。

【あいさつプロジェクト】

朝、児童玄関や教室の前で全校生にあいさつの呼びかけを行った。元気よくあいさつできた児童数を調べて、学級ごとの達成率を出した。また、すごろくやビンゴ等の楽しいゲームを用意し、あいさつがもっと上手になるように意欲付けを行った。以上のような活動の結果は、給食の時間に放送し、全校生で拍手をして賞賛することにした。このようにして、学校中に気持ちのよいあいさつが響くようにした。

【おそうじプロジェクト】

そうじの取り組みの目標を次の3点に絞り、全校生に呼びかけた。

- 1 時間を守ってとりかかる
- 2 静かにそうじをする
- 3 後片付けをきちんとする

見回りをしたり、よくできた児童には賞賛のカードを渡したりして、全校生が一生涯懸命そうじができるようにした。

【なかよしプロジェクト】

全校生が仲良くできる活動を考え、運営・実行を中心となって行った。スタンプラリーや七夕飾り、学級対抗球技大会などを行った。特に、スタンプラリーは、縦割り班で活動し、異学年との交流を図った。

● 「名人」として賞賛する

それぞれの活動の中で、目標に達した児童を「あいさつ名人」「おそうじ名人」として全校集会で紹介し、「あいさつ名人」には黄色、「おそうじ名人」には緑色のクリップを渡し、名札に付ける事にした。そのことで、認められた自分自身を意識でき、周囲の児童にも啓発ができるようにした。

● 掲示板の活用

常に意欲をもって取り組めるように、児童玄関の掲示板を活用し、各プロジェクトが取り組みを紹介するコーナーを設置した。あいさつが上手な児童や月ごとの名人を紹介し、全校生に分かりやすく意欲が高まるように工夫した。



<七夕飾り>

<名人クリップ>



<あいさつ名人の紹介>

成果



6年生がいずれかのプロジェクト活動に参加することで、リーダー意識をもち、仲良く最後まで頑張る学校にしようと全員で取り組むことができました。そして、それぞれがやり遂げたという達成感をもつことができました。今年度から始めた「名人クリップ」は、全校生の意欲を高め、意識を継続させるのに役立ちました。その結果、2学期末で63%の児童がいずれかの名人となり、「自分が好きな児童」が93%、「学校へ来ることが楽しい児童」児童が92%に達しており、自尊感情を高めることができました。今後も、児童の主体性を育て、自分のよさに気付く活動を展開していきたいと思います。